

その他の主な新規・臨時経費など

1 教育文化

興津健康学園跡施設改修 2億7,550万円

教育委員会 / 企画調整課

21年3月に廃園した「興津健康学園」の跡施設を、主に小学校の児童を対象とした自然宿泊体験教室事業を行うための新たな教育施設「興津ネイチャースクール(仮称)」として活用するため、改修工事等を行います。

小学校水飲栓直結給水化工事 1,378万円

教育委員会 / 学校施設計画課

小学校の水飲栓を現在の貯水槽経由方式から水道管直結方式に改修します。

第一中学校ICT環境整備 1,598万円

教育委員会 / 教育改革推進課・学校施設計画課

目黒中央中学校の教室環境をモデルとしながら、教室のICT機器(プロジェクター、実物投影機、ホワイトボードなど)を充実させ「わかる授業」の実践を行っていきます。21年度は、区立中学校の魅力づくりの観点から第一中学校で整備を行います。

学校校庭照明設備の増設 839万円

教育委員会 / 学校施設計画課

校庭の照明設備を増設し、夜間の校庭使用の利便性を向上させます。

校務LANシステムの整備 3,790万円

教育委員会 / 教育改革推進課

区内の小・中学校に、学校の校務を共通化・効率化するため、PCシステムを導入しました。21年度は、さらに小・中学校共通のセキュリティ対策のとれたシステムを整備・運用します。

食育の推進

1,807万円

教育委員会 / 学務課

区立小・中学校の児童・生徒が伝統文化の継承の大切さを理解するとともに、それに親しむため、日本の行事にちなんだ行事食や郷土料理、さらに世界の料理などを取り入れた給食（特別給食）を事業化し実施する経費を区で負担します。



学習指導体制の充実

715万円

教育委員会 / 指導課

中学校の教科書と指導書の改訂（4年ごと）に伴う買替え経費を計上します。

オリンピックムーブメントの推進

931万円

教育委員会 / スポーツ振興課

東京都と区市町村によるオリンピックムーブメント共同推進事業を実施し、オリンピズムの普及・啓発を通じ、スポーツ・文化の振興、青少年の健全育成、国際理解の推進を図ります。

碑文谷体育館庭球場改修工事

4,059万円

教育委員会 / スポーツ振興課

庭球場のクレーコート(2面)を人工芝化します。



子ども向け学習図書の充実など

524万円

教育委員会 / 八雲中央図書館

子ども向けの図書の購入冊数を増やし、図書館へ来る子どもたちがより多くの本を手にとって選べるようにするとともに、学校図書館へ貸出する資料の種類を充実させます。

また、乳幼児の保護者に親子で楽しむ絵本の紹介リーフレットやアドバイス集を配付し、早い時期から本と触れ合うことの大切さをPRしていきます。



2 健康福祉

災害用救急医療セットの入替

471万円

健康福祉部 / 健康福祉計画課

災害時に対応するために区民キャンパス、総合庁舎、碑文谷保健センター、第一次避難場所などに配備している救急医療セットの隔年での入替及び滅菌を行います。

麻しん予防接種の実施（5 年時限） 2,408 万円

健康推進部 / 保健予防課

予防接種法施行規則改正に基づき、20 年度から 5 年間中学 1 年と高校 3 年の年齢に相当する者に対して、麻しん風しん混合ワクチンを用いて予防接種を行います。21 年度はその 2 年目となります。

日本脳炎予防接種の勧奨再開 2,270 万円

健康推進部 / 保健予防課

日本脳炎予防接種については 17 年 5 月から積極的な勧奨を控えていましたが、新たなワクチンの供給が見込まれることから再開します。

眼科検診の実施 2,039 万円

健康推進部 / 健康推進課

自覚症状が無く進行する緑内障や、生活習慣・加齢によって起こる眼科疾病を、早期に発見し進行を予防するため、40・45・50・55・60・65 歳で検診を実施します。

産後支援ヘルパー派遣事業の拡充（多胎児育児支援の充実） 404 万円

子育て支援部 / 子ども政策課

従来の産後支援ヘルパーの派遣事業について、多胎児の場合は派遣時間と期間の拡大を行います。

対象：出産後、産婦及び新生児やきょうだいの世話をする人がいない方。

期間：利用開始日から 3 か月以内 42 時間までの利用時間を、多胎児については新生児が 1 歳になるまでの期間 84 時間までに拡大。

介護サービス評価事業の実施

400万円

健康福祉部 / 介護保険課

介護サービスの質の確保・向上などのため、利用者及び事業者にアンケート調査を実施し、調査結果を公表します。



高齢者センター指定管理者運営経費

3,413万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

高齢者センターは、21年度から指定管理者制度を導入します。

遅番看護業務への人材派遣による対応

993万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

特別養護老人ホーム中目黒及び特別養護老人ホーム東が丘において、医療的ケアを必要とする入所者に対応するため、準夜間帯（17時～21時）に看護師を配置します。

特別養護老人ホーム契約職員の正規職員化

4,073万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

指定管理者が契約職員として配置してきた職員を正規職員とすることにより人材確保を図ります。

特別養護老人ホーム	正規職員化する人数
東山	介護士 10人
中目黒	介護士 7人
東が丘	介護士 4人、看護師 1人

天井走行リフトの設置 1,376万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

特別養護老人ホーム中目黒において、介護職員の身体的負担を軽減するため天井走行リフトを設置します。

民間社会福祉法人への整備補助 5,911万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

民間社会福祉法人が設置運営する特別養護老人ホームに対し、大規模改修工事費の補助を行うことにより、法人の財政負担軽減及び利用者の安全確保を図ります。

通学介助の拡充 303万円

健康福祉部 / 障害福祉課

障害をもつ子どもの義務教育通学介助を推進するため、ガイドヘルプの介助単価を改定します。既定経費と合わせて21年度は1,547万円を計上します。

通所施設における食費実費額の一部補助 552万円

健康福祉部 / 障害福祉課

通所施設利用者の実費負担となっている食費負担分の一部を補助します。

自立支援給付システム改修 525万円

健康福祉部 / 障害福祉課

障害者自立支援法見直しに伴う報酬等改定に対応するためにシステムを改修します。



第六中学校跡地障害福祉施設（仮称）等建設 10億2,848万円

健康福祉部 / 障害福祉課

第六中学校跡地の北側校舎を改修し、障害をもつ方の就労相談、就労支援、就労訓練、障害をもつ子どもの放課後活動の場を提供する障害福祉施設を整備します。併せて児童館、学童保育クラブの児童厚生施設を整備します。また、22年度の施設開設に必要な備品等を購入します。

総合庁舎で行う障害者の就労準備雇用 323万円

健康福祉部 / 障害福祉課

就労支援事業の一環として、区役所内で知的障害又は精神障害をもつ方を臨時職員として雇用し、一般就労に向けたレベルアップを図ります。

リフト付福祉タクシーの拡充 719万円

健康福祉部 / 障害福祉課

外出困難な障害をもつ方などの外出を支援するため、リフト付福祉タクシーの利用時間を延長します。

日常生活用具等給付 95万円

健康福祉部 / 障害福祉課

日常生活用具等の給付にあたり、活字文書読上げ装置等の対象品目を拡大します。

路上生活者等に係る宿泊施設の確保 128万円

健康福祉部 / 生活福祉課

緊急対応用の宿泊施設として、現行年間1床確保しているところを3床に増やし、緊急時の円滑な対応を図ります。

《3 産業経済》

中小企業・零細企業対象の資金融資の実施

8億9,571万円

産業経済部 / 産業経済課

中小企業経営安定資金特別融資及び小口零細企業資金融資（経営支援適用者）のあっせんでは、利子補給や信用保証料の9割補助を行います。中小企業資金融資あっせんでは、利子補給を実施し、融資限度額を1,500万円に拡大します。

また、緊急保証制度により融資あっせん相談の増加が見込まれるため、商工指導員、中小企業診断士、非常勤職員の増員を行います。

商業振興

9,291万円

産業経済部 / 産業経済課

商店街共同設備の整備補助（6商店街）、目黒区商店街連合会パスモポイント電子決済システム利用拡大イベント、新・元気を出せ商店街イベント助成を行うとともに、商店街街路灯の電気料の助成額を1本4,680円/年から5,160円/年に、維持管理費の助成額を1本1,000円/年から1,500円/年に増額し、商店街街路灯助成の充実を図ります。

工業振興

753万円

産業経済部 / 産業経済課

中小製造業等を対象としたものづくり産業支援事業として、国際規格（ISO9000, 14000シリーズ）取得の支援、新製品・新技術開発の支援、経営アドバイザー派遣の支援などの支援事業を行います。

中小企業振興

279万円

産業経済部 / 産業経済課

中小企業の振興を図るため中小企業者に対し、プライバシーマーク取得を支援するとともに、区民センター会議室にパソコンを導入し、インターネットを活用してリアルタイムの情報を示しながら講習会を開催するなど、IT環境整備を図ります。

公衆浴場への支援

336万円

産業経済部 / 産業経済課

公衆浴場事業者への燃料費助成について、1 浴場当たり月額最高 40,000 円までを補助します。既定経費と合わせて 21 年度は 960 万円を助成します。

角田市との友好都市提携

360万円

産業経済部 / 産業経済課

東京都米穀小売商業組合目黒支部が行う、角田市産米の特売を支援します。

就労相談の充実

875万円

産業経済部 / 観光・雇用課

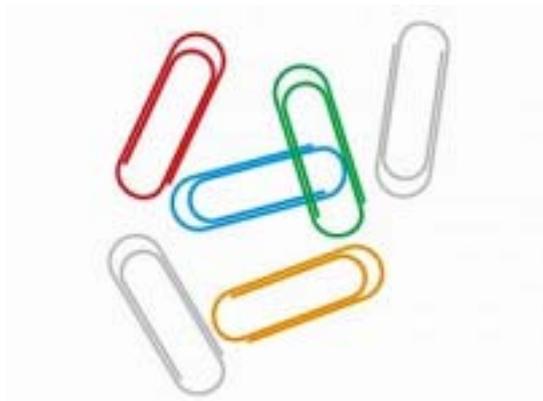
地域就労相談窓口「ワークサポートめぐろ」内に、ハローワーク渋谷との連携・協力のもと、「ハローワーク相談室」を設置し、広く若年者から高齢者まで職業紹介を行っています。また、「キャリア相談コーナー」では、有資格の専門相談員が幅広い年齢層を対象に、きめ細かい就労相談に応じています。

消費生活啓発活動の充実

588万円

産業経済部 / 産業経済課

区民に対する消費生活啓発のため、消費者相談員の拡大配置をします。



区民センター等各所修繕工事 7 3 5 万円

産業経済部 / 産業経済課

区民センター屋内外プール更衣室内の腰洗槽部分の段差を解消し、バリアフリー化します。

田道ふれあい館在宅サービスセンター脱衣室内のトイレを1箇所増設します。

《4 都市整備》

上目黒一丁目周辺地区整備 3 2 5 万円

都市整備部 / 都市整備課

上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舍跡地を含む地域の街づくり計画の検討・策定を行います。

目黒駅周辺地区整備 3 8 6 万円

都市整備部 / 都市整備課

「目黒駅周辺地区整備構想」の策定に向けた基礎調査を行います。

擁壁築造工事の実施（下目黒一丁目） 6 , 5 0 8 万円

都市整備部 / 土木工事課

区道の擁壁（ようへき）面の老朽化に対応するため、築造工事を実施します。

放置自転車対策の推進 1 , 6 5 3 万円

都市整備部 / 道路管理課

放置自転車台数の縮減を図るため、放置防止指導員の拡大配置と放置自転車の撤去強化を継続して実施します。

自転車駐車場等の運営・整備

1,192万円

都市整備部 / 道路管理課

補助 26 号線整備開始まで旧第六中学校を自転車集積所として活用し運営します。

中町二丁目自転車集積所の 2 層化により新たに 1,000 台分の収容台数を確保して運営します。



公営住宅ストック総合改善事業

797万円

都市整備部 / 住宅課

区営住宅は主に昭和 40～50 年代に建設されたものであり、今後、建物や設備の老朽化に伴う適切な改善が必要なことから、住宅の建替え、全面的改善、個別改善などの手法により計画的に改善を行い、建物の長命化と質の向上を図っていきます。

区営南一丁目アパート耐震補強工事実施設計

600万円

都市整備部 / 住宅課

19 年度に実施した区営住宅の耐震診断の結果、南一丁目アパートの耐震補強が必要なことが明らかになったことから、20～21 年度にかけて、耐震補強工事の手法の調査及び実施設計を行います。

区営清水町アパート建替え基本・実施設計

5,117万円

都市整備部 / 住宅課

清水町アパートは昭和29年建築で老朽化が著しく、建て替えることで住宅のバリアフリー化や居住性、安全性の向上が図れるほか、土地の有効利用によって、高齢者福祉住宅を併設することになっています。21年度に基本設計、実施設計を行い、22～23年度で建設工事を予定しています。

区営上目黒一丁目アパート建替え

141万円

都市整備部 / 住宅課

上目黒一丁目地区第一種市街地再開発事業に合わせて区営住宅の建替えを行い、63戸の住宅を供給します。

区営青葉台一丁目アパート建替え

1,068万円

都市整備部 / 住宅課

19年4月に東京都から移管を受けた旧都営上目黒アパートの建替えを行い、80戸の区営住宅を供給します。

指定道路図及び指定道路調書の作成

3,701万円

都市整備部 / 建築課

建築基準法施行規則の改正に伴い、指定道路図及び指定道路調書を作成し、閲覧に供します。

《5 環境対策》

地球温暖化対策実行計画

222万円

環境清掃部 / 環境保全課

区の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量の削減を進めるため、エネルギー使用量等を管理するシステムを構築します。また、第三者評価委員会を設置します。

《6 行政運営》

L G W A N機器の整備

227万円

企画経営部 / 情報課

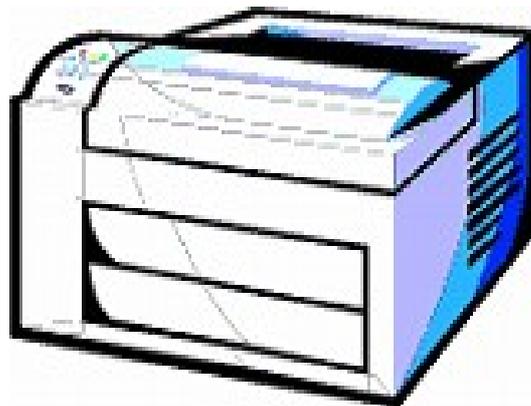
15年度に整備したL G W A N（地方自治体のコンピュータネットワークを相互接続した広域ネットワーク）へ接続するための機器を更新します。

イントラネット用プリンタの入替え

706万円

企画経営部 / 情報課

16年度に購入し、児童館・保育園・小中学校・幼稚園等に配置してあるイントラネット用プリンタが老朽化したため、入れ替えを行います。



庁外施設オンラインタイムレコーダーの増設 446万円

企画経営部 / 情報課

庶務事務システム及び人事給与システムの稼働に伴い整備したオンラインタイムレコーダー（OTR：職員証を読み取って、オンラインで職員の出勤及び退庁時間を記録する装置）を区民センターや図書館等の庁外施設に増設します。

システム監査の実施 1,000万円

企画経営部 / 情報課

事務改善と情報システムの全体最適化を目的として、財務情報、文書管理、庶務事務、人事給与及び共通基盤の各システムを内部情報システムとして一体的に構築し、19年度から運用を開始しています。

これらのシステムについて、システムの安全性・信頼性、導入による省力化・効率化や費用対効果等について資格を持った第三者の監査人によるシステム監査を実施します。

基本計画・実施計画の改定 876万円

企画経営部 / 長期計画課

目黒区基本計画と目黒区実施計画を、それぞれ22年度を初年度とする新たな計画に改定するに当たり、区報臨時号の発行や区民説明会の実施により区民への周知と意見反映を図り、計画書を作成します。

総合庁舎施設整備 8,582万円

総務部 / 総務課

空調設備改修工事、目黒都税事務所レイアウト変更工事を実施します。

税のコンビニ・マルチペイメント収納導入 1,929万円

区民生活部 / 税務課・滞納対策課

住民税・軽自動車税について、コンビニエンスストア収納及び全国の郵便局・ネットバンキング・ATM等の利用による納税が可能なマルチペイメントネットワーク収納の導入を行います。

(☞56ページ)

非常勤職員の活用による歳入の安定的確保 1,391万円

区民生活部 / 滞納対策課

18年度から引き続き、非常勤の滞納整理調査補助員(6人)を活用して、徴税体制の強化を図ります。

公的年金からの特別徴収の実施 3,791万円

区民生活部 / 税務課・滞納対策課

公的年金から特別区民税・都民税を特別徴収するため、電子データ送受信の回線を利用できるようシステム改修などを実施します。

